

「さまざまな価値観に触れる ～福祉施設の実践的取り組み～」

京都府では、ひきこもり当事者、その家族を支えるために、医療、福祉、企業、教育等々、地域のさまざまな社会資源と連携を図りながら、取り組みを進めています。

今回のひきこもり家族研修会では、前半で基調講演として、有限会社ライフ・アシスト代表 井山 信久氏をお招きし、福祉事業所での実践的取り組みについてお話しいたします。

後半は、ひきこもり経験のある山本 拓真氏、ひきこもりサポートスペースゆまほほ代表の岡田 洋之氏にも御登壇いただき座談会を行います。それぞれのお立場から、ひきこもり支援への思いや願いを語っていただこうと考えています。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日 時 令和5年11月24日（金）
午後2時～午後4時（受付は午後1時30分～）
2. 場 所 キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室
（京都市下京区西洞院通塩小路下ル JR京都駅から徒歩5分）
3. 内 容 ○基調講演
「福祉の現場から～ライフ・アシストの実践的取り組み～」
有限会社ライフ・アシスト 代表 井山 信久氏
○座談会
パネラー：有限会社ライフ・アシスト 代表 井山 信久氏
ひきこもり経験者 山本 拓真氏
ひきこもりサポートスペースゆまほほ 代表 岡田 洋之氏
進 行：京都府脱ひきこもり支援センター主査 廣田 和之
4. 対象者 ・ひきこもり当事者の御家族で、ひきこもりを支える家族教室に参加された方
・ひきこもり支援に携わる方、ご興味のある方等
5. 備 考 ・電話、FAX・メール（裏面参照）、または下記URLやQRコードより、必要事項をご記入の上、11月17日（金）までにお申し込みください。
※申し込み、お問い合わせは、京都府家庭支援総合センター（京都府脱ひきこもり支援センター）
電話 （075）531-5255
FAX （075）531-9610
メール team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp
URL <https://forms.office.com/r/AsKTd3pEpL>

「令和5年度 ひきこもり家族研修会」
申込



ひきこもり家族研修会 参加申込書 (令和5年11月17日(金)〆切)

下記の項目を記入し、電話、Faxまたはメールでお送りください。

<電話 075-531-5255> <FAX 075-531-9610>

<メール team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp>

令和 年 月 日

氏名	所属機関またはお住まいの市町村	電話番号	職種 (支援者の方)

講師プロフィール



井山 信久氏

大学を卒業後、身体障がい者支援事業所、知的障がい者入所施設、通所支援事業所の勤務を経て、2004年4月、ご夫婦で京田辺市に居宅支援及び短期入所事業所を立ち上げられました。「生活の困り感に寄り添うのが福祉の役割」、「福祉は地域の課題を解決する為のツールの一つ」をモットーに、現在、ショートステイ、生活介護・就労支援B型・就労移行支援、放課後デイ、児童発達支援の運営をはじめ、京田辺市や久御山町の障がい児生活支援センターや、大阪管区京都拘置所 篤志面接委員、地域のひきこもり相談をされる等、日々多方面で活躍中です。



山本 拓真氏

滋賀大学経済学部企業経営学科卒業後、医療機関で6年間勤務されるも、突如生きる希望を見失ひきこもり生活となられました。その際、読書との出逢いで価値観を一新、長年コンプレックスであった体型の改善にも成功し、自信を取り戻したことによってひきこもり生活から脱出。また、実妹のひきこもりについても、自身が経験した常識に縛られない方法で解決に導かれています。それら経験を活かして、現在は個人を対象としてひきこもり支援を行う一方、「当事者×当事者家族」の目線で本質に迫る「ハイブリッド」ひきこもりセミナー講師として活躍されています(直近では京都府主催のひきこもりを支える家族教室で講演を担当)。



岡田 洋之氏

民間企業で28年間、技術職、人材育成に携わり、その後、京都ジョブパーク、地域若者サポートステーションで若者の就労支援に従事。我が子の不登校ひきこもりの経験から多くを学び、現在は、京都府ひきこもり支援チーム絆地域チーム「ほっこりスペース・あい」や他府県のひきこもり当事者を支える家族会で活躍されているほか、ご自身でも、「ひきこもりサポートスペースゆまほほ」にて、ひきこもり当事者やそのご家族を支える活動をされています。